

「課題研究」の評価基準表（ルーブリック） 自己評価表

項目 身につけたい力	達成段階	[ C ](2点)	[ B ](3点) (第2学年での達成目標)	[ A ](4点) (第3学年での達成目標)	[ S ](5点)	自己 評価
①課題の設定力 ＜定義＞解決したい、解決すべき問題や仮説を設定する		課題や疑問点を提起しており、必要に応じて仮説を設定している	[ C ]に加え、そのように【考えた根拠】を説明している	[ B ]に加え、【既有知識との整合性】を説明している [ B ]に加え、【研究の意義・独自性】を説明している	[ A ]に加え、【先行研究を根拠として、科学的・社会的に未解明な課題】であり、【実験、調査により検証が可能】であることを説明している	点
②先行研究・事例の調査力 ＜定義＞発見した課題に対して先行研究・事例について調査する		他人からの伝聞、一般的によく言われているような事柄を、先行研究として提示している	過去の【一つの研究】を先行研究として適切に提示している	過去の【複数の研究を比較】しながら先行研究として適切に提示している	[ A ]に加え、【学術論文や専門書の内容を精査】し、適切な情報を先行研究として提示している	点
③探究活動の立案力 ＜定義＞探究活動の目的を理解し、適切な計画を立案する		探究活動の目的を理解した上で、探究を進めるための計画を立案している	[ C ]に加え、【仮説を検証するための具体的かつ適切な研究計画】を立案している	[ B ]に加え、【計画の問題点、手法の限界や危険性など】を示している	[ A ]に加え、その【根拠や解決策】まで示している	点
④探究活動の実践力 ＜定義＞③の計画に基づき、安全で適切な実験操作や調査活動を実践する		計画に基づいた実験、調査を実践している	[ C ]に加え、【安全性、個人情報保護に配慮し】、考察のための【単一の結果】を得ている	[ B ]に加え、考察のための【複数の結果】を得ている	[ A ]に加え、【信頼性のある複数のアプローチによる結果】を得ている	点
⑤結果の分析力(1) ＜定義＞実験や調査などで得られた結果を数値化し、考察に向けて適切に分析する		結果をグラフや表等を用いて、適切に分析している	[ C ]に加え、【定量的な結果の利点】や意義を活かして、分析している	[ B ]に加え、【様々な視点から分析】し、【適切な手法で分析】している	[ A ]に加え、【有意差や誤差についても分析】している	点
⑥結果の分析力(2) ＜定義＞実験や調査から得た結果を説明するため、参考文献等の情報から分析する		インターネット上の二次情報・新聞記事・書籍などの情報を活用し、分析している	[ C ]について、【客観的に情報を精査し、科学的・論理的な根拠】として提示している	[ B ]に加え、【複数の情報を提示】し、かつ【反論となる資料も提示】している	[ A ]について、【複数の学術論文や信頼できる情報などを適切に提示し、反論に対して考察】している	点
⑦結果の考察力 ＜定義＞③～⑥の能力に基づいて、結果を考察する		仮説の真偽について考察している	[ C ]について、【実験結果、調査結果を根拠】としている	[ B ]に加え、【帰納法・演繹法など、説得力のある論理的手法】を用いている [ B ]に加え、【出典の明確な根拠を提示】している	[ A ]に加え、【実験・調査の問題点とその解決策に対して考察】している	点
⑧プレゼンテーションの表現力 ＜定義＞内容を論理的にまとめ、適切な資料を提示しながら、説得力をもって表現する		研究の目的、手法、結果、考察を正しく表現している	[ C ]について、【論理的にわかりやすく】説明している	[ B ]に加え、【適切な例、用語を使い、説得力のある説明】をしている [ B ]に加え、【効果的な技法(パラグラフライティング等)を活用して説明】している	[ A ]に加え、【適切な資料、動画、演示等を用いて、効果的な表現方法を工夫】している	平均点 点

結果の分析力(1),(2)は、評価の判断が可能で良い。両方の項目を評価しても良い。